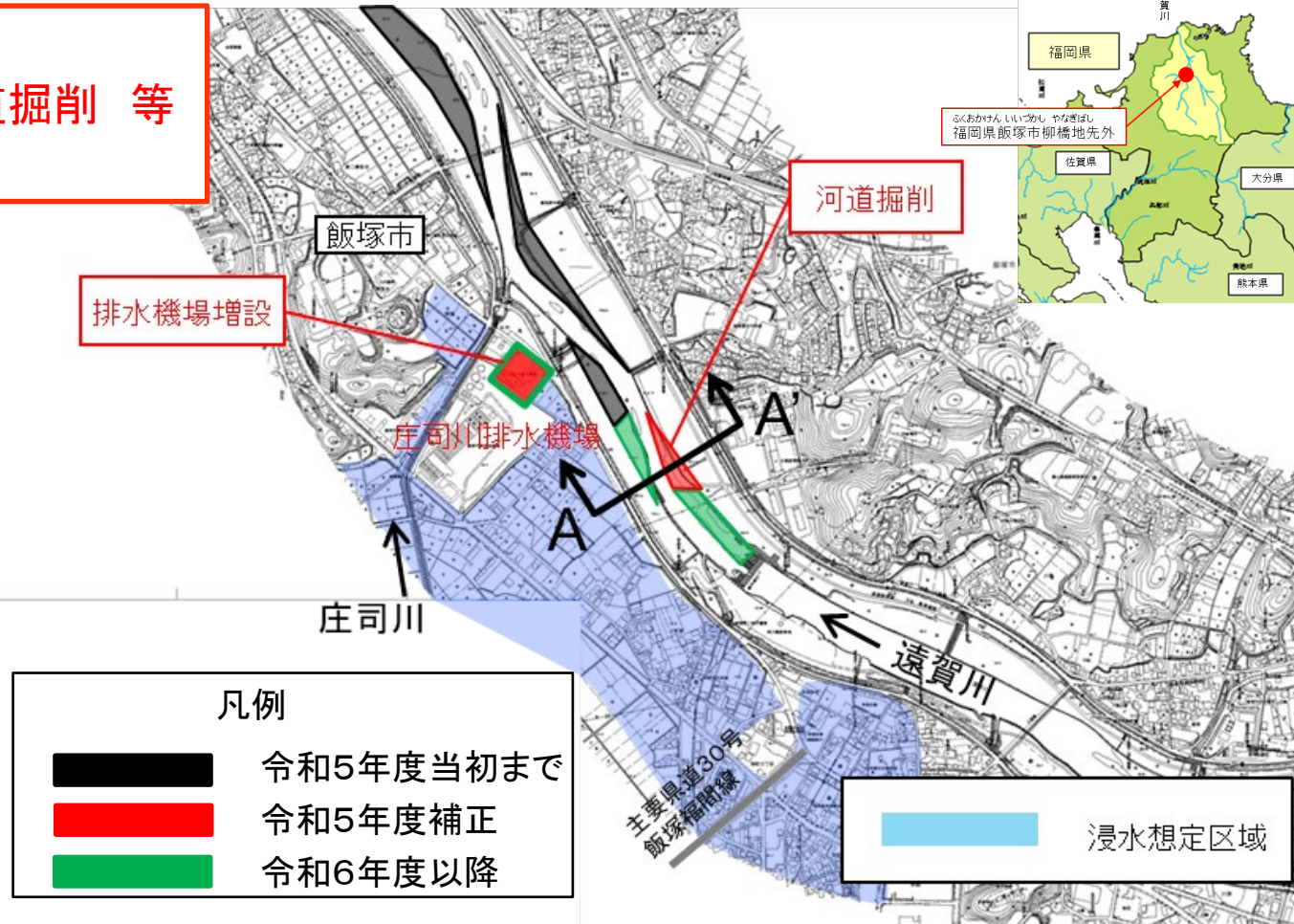
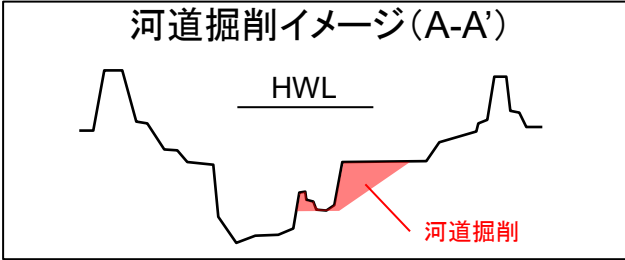


遠賀川直轄河川改修事業(鯉田地区)【直轄】

- 平成30年7月豪雨により遠賀川中下流部(中間市~飯塚市)の約20kmで計画高水位を越える洪水が発生し、河川水位が高い状況が続いたことから、小竹町及び飯塚市で甚大な内水被害が発生。
- 平成30年豪雨以降、国・県・市から構成される「平成30年7月豪雨浸水対策連絡協議会」開催。
- 国では、令和5年度補正予算にて、河道掘削及び排水機場の増設を実施し、浸水被害の軽減を図る。

**令和5年度補正
実施内容:排水機場増設、河道掘削 等
事業費:1,209百万円**

※遠賀川水系における直轄河川改修事業の
令和5年度補正予算の事業費を記載しております。

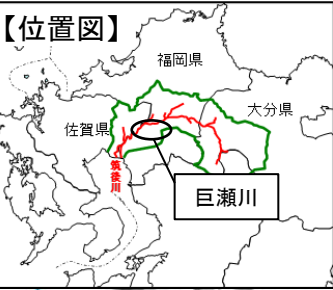


凡例

	令和5年度当初まで
	令和5年度補正
	令和6年度以降

筑後川直轄河川改修事業(牧上原地区)【直轄】

- 筑後川水系巨瀬川流域では、令和5年7月出水により溢水・越水、支川・水路等からの氾濫が発生し家屋等の甚大な浸水被害が発生した。
- 令和5年7月出水を踏まえ、国・県・市が連携した「緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめ、流域における浸水被害軽減を図るとともに、強靱な地域づくりを目指す。
- 令和5年度補正予算にて、築堤を実施し、家屋等の浸水被害の軽減を図る。



**令和5年度補正
実施内容:築堤等
事業費:2,231百万円**

※筑後川水系における直轄河川改修事業の令和5年度補正予算の事業費を記載しております。

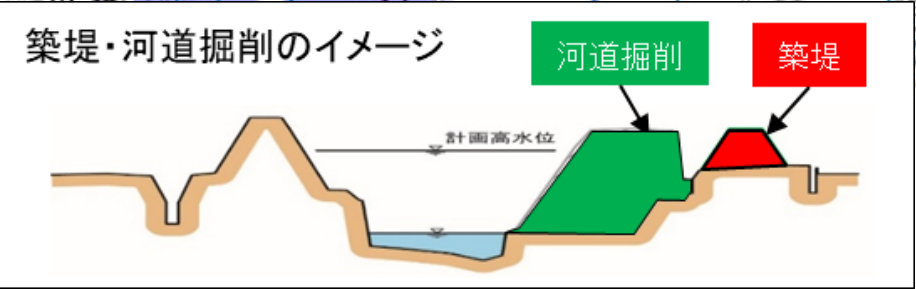
凡例

	: 浸水範囲(R5.7豪雨)
	: 河道掘削、築堤
	: 樋門・樋管(7箇所)
	: 橋梁架替(3箇所)



凡例

	令和5年度当初まで
	令和5年度補正
	令和6年度以降



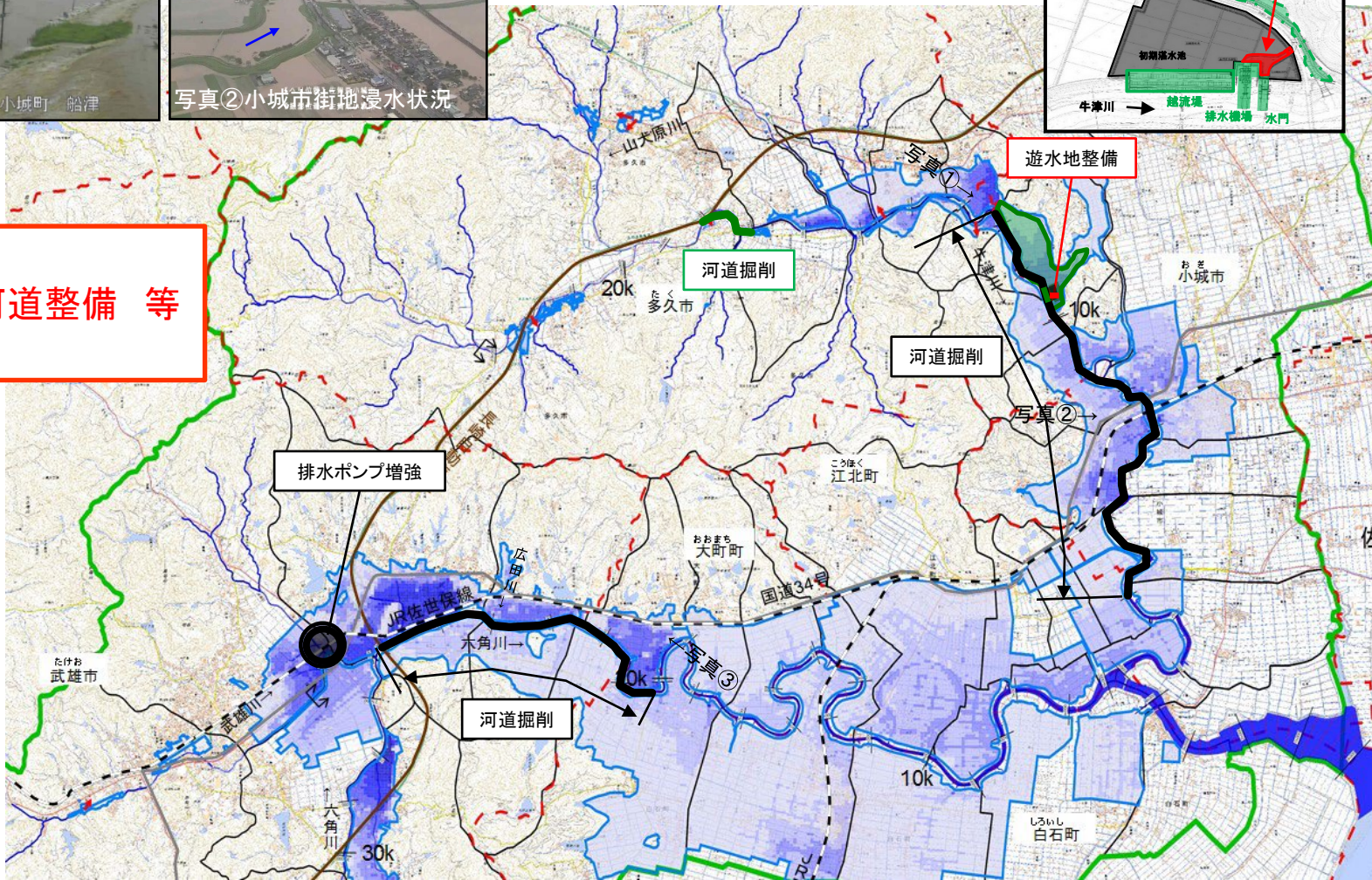
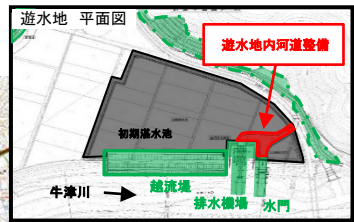
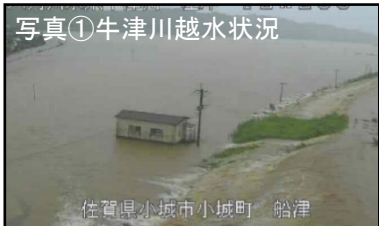
巨瀬川左岸1k000~2k000付近の浸水状況



巨瀬川4k000付近の浸水状況

六角川河川激甚災害対策特別緊急事業【直轄】

- 令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川において観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。
- 令和5年度補正予算にて、遊水地内河道整備等を実施することで、浸水被害被害の軽減を図る。



**令和5年度補正
実施内容:遊水地内河道整備 等
事業費:955百万円**

		令和元年8月洪水
家 屋	床上浸水	1,132戸
	床下浸水	1,804戸
	合計	2,936戸
浸水面積		6,900ha

※国交省・佐賀県調べ(令和元年9月30日時点)



城原川ダム建設事業【直轄】

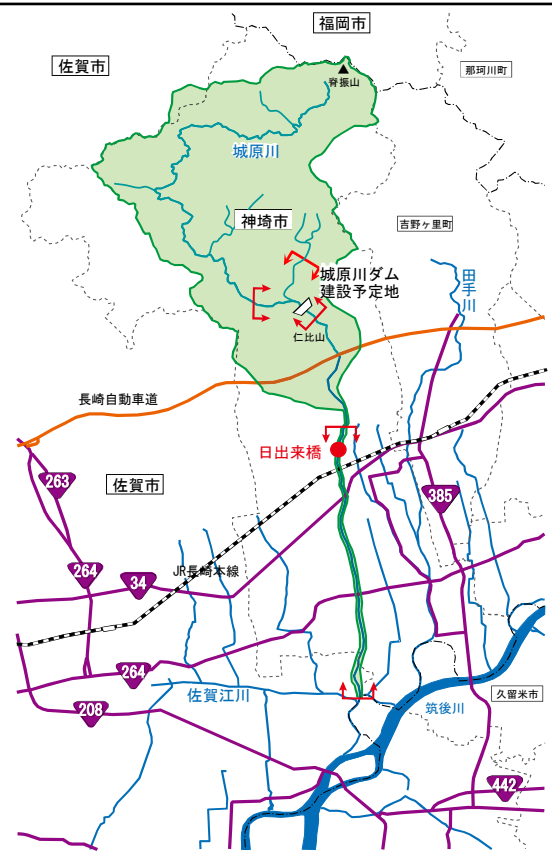
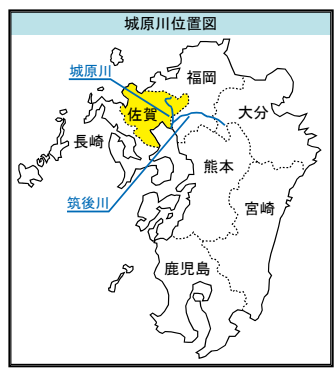
■事業概要

- 場所 佐賀県^{かんざきし}神埼市^{ちくごがわ}（筑後川水系^{じょうぼるがわ}城原川）
 - 目的 洪水調節
 - 諸元 堤高：約60m 総貯水容量：約3,550千m³
 - 経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手
 - 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- 洪水被害の軽減を図る洪水調節専用のダム

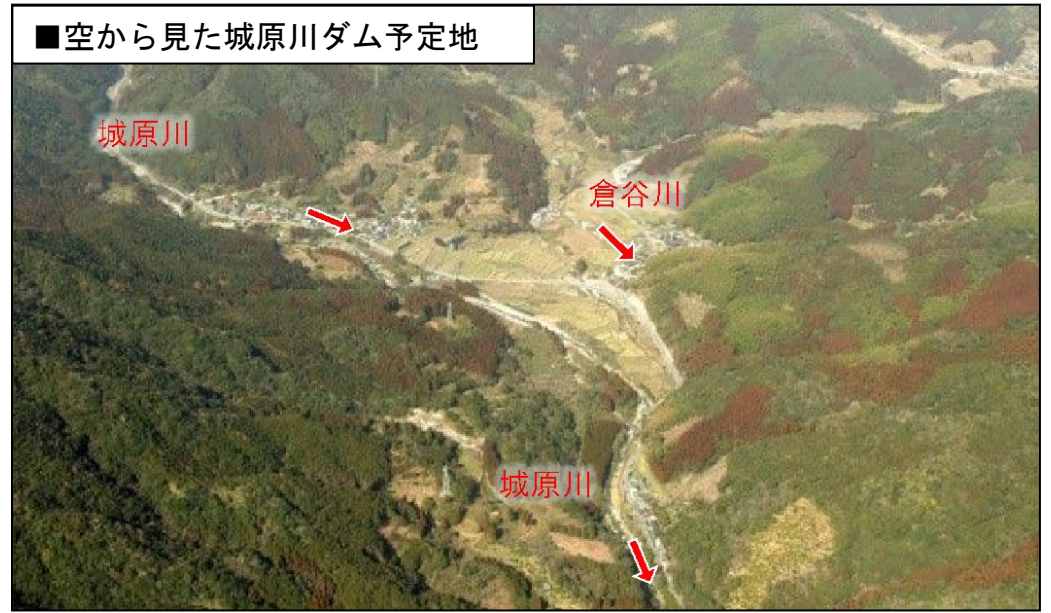
■令和5年度補正実施内容
付替道路の調査・設計 等

事業費：100百万円

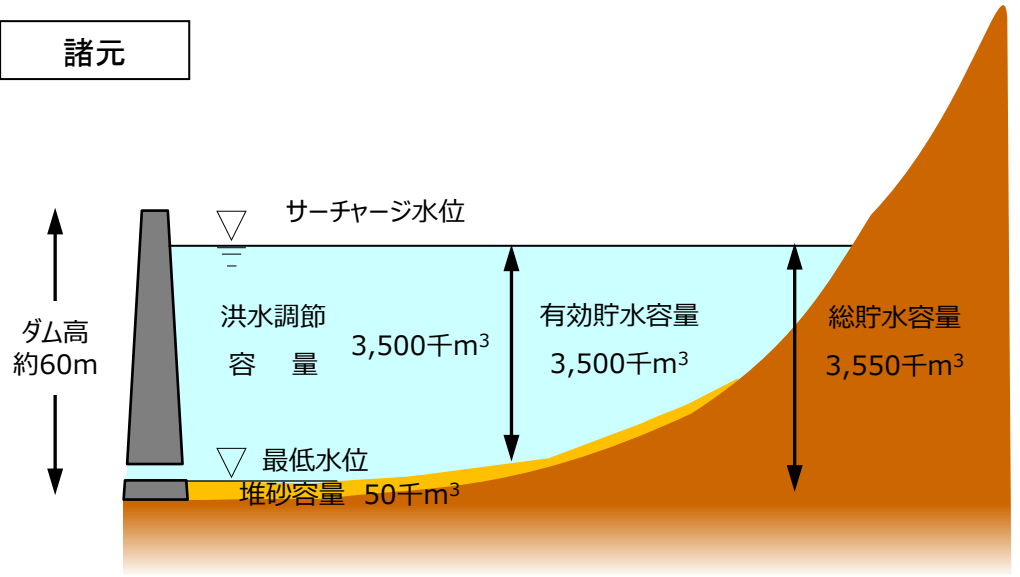
位置図



■空から見た城原川ダム予定地



諸元



凡 例	
	鉄道
	高速道路
	主要道路
	県界
	市町村界
	城原川流域
	主要地点
	国管理区間

本明川ダム建設事業【直轄】

■事業概要

- 場所 いさはやし 長崎県諫早市 (本明川水系本明川)
- 目的 ほんみょうがわ 洪水調節
ほんみょうがわ 流水の正常な機能の維持
- 諸元 標高: 約60.0m 総貯水容量: 約6,200千m³
- 経緯 平成2年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

■洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

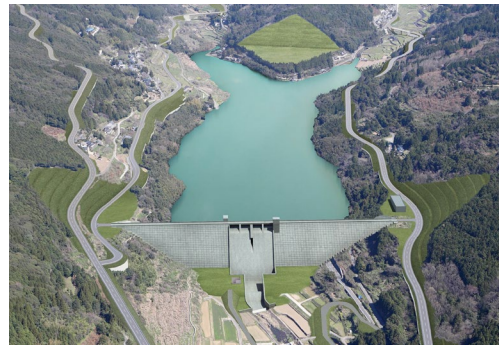
位置図



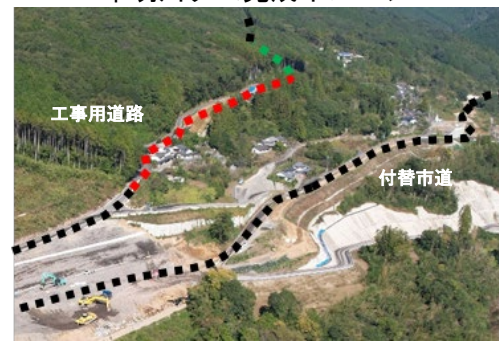
■令和5年度補正実施内容

工事用道路工事 等

事業費：552百万円



本明川ダム完成イメージ

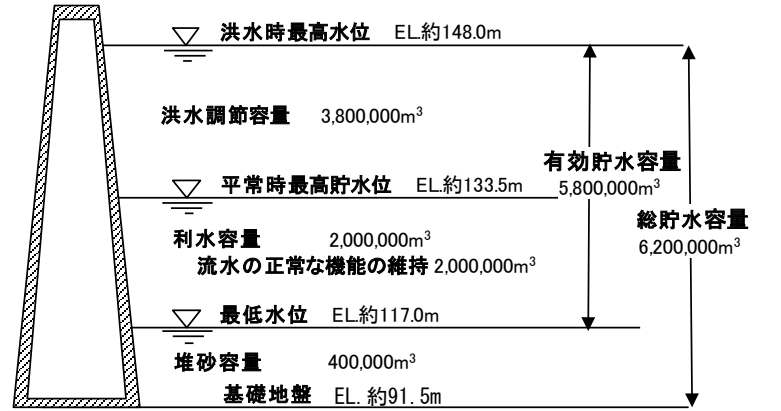


工事用道路実施箇所 (R5. 10撮影)

凡例

- 黒線: 令和5年度当初まで
- 赤線: 令和5年度補正
- 緑線: 令和6年度以降

諸元



■ 令和2年7月豪雨では記録的な降雨となり、球磨川流域では観測開始以来最高の雨量・水位を記録し、河川の氾濫等により、家屋の流出など甚大な被害を受けた。

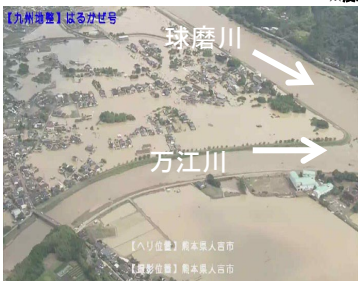
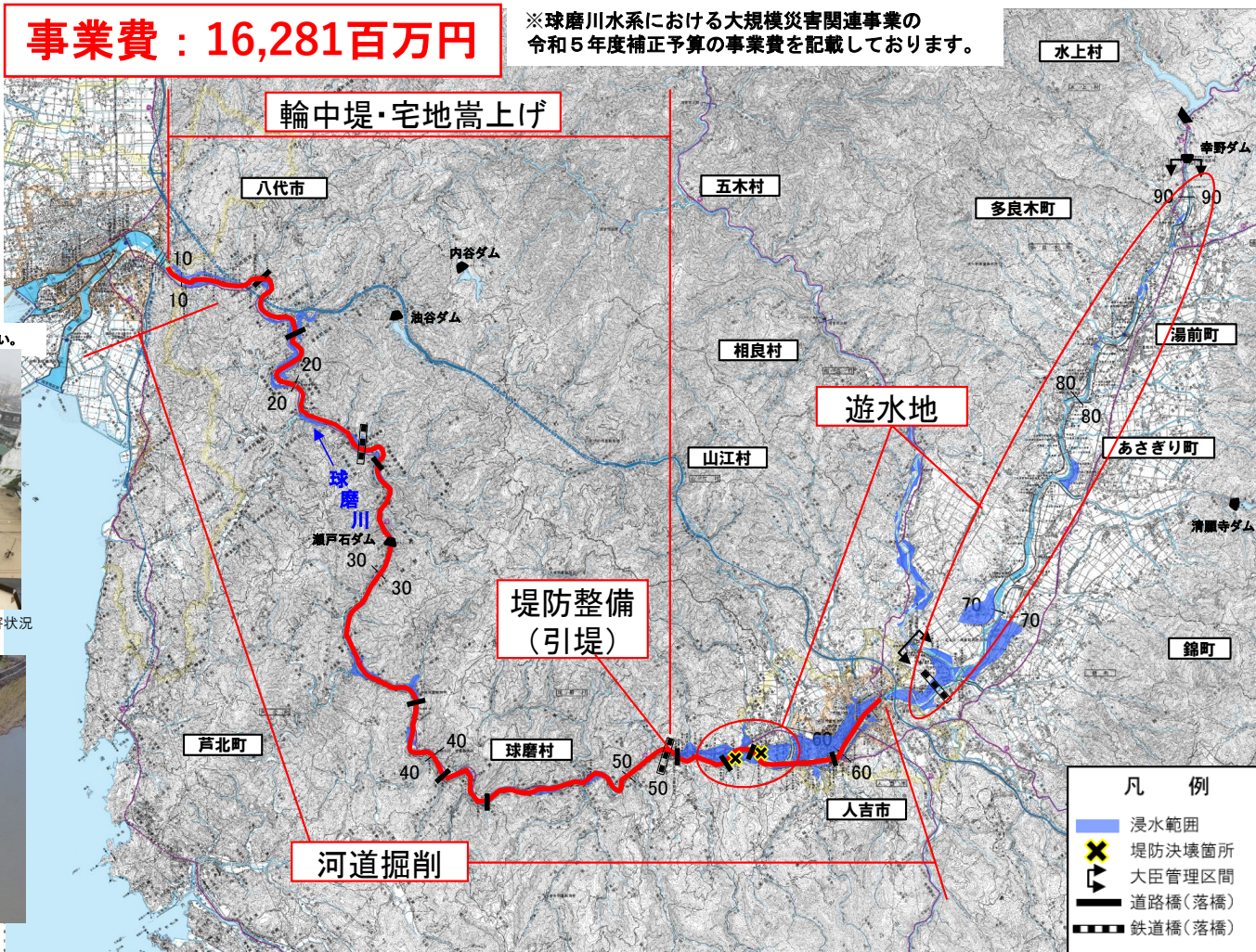
■ 球磨川水系において、浸水被害の軽減を図るために、令和5年度補正予算にて、河道掘削、輪中堤・宅地かさ上げ、堤防整備（引堤）、遊水地を実施。

令和2年7月豪雨【被害状況】

市町村名	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)
人吉市	約518	4,681
錦町	約290	約280
相良村 (柳瀬橋下流)	約90	約260
相良村 (柳瀬橋上流)	約130	約170
球磨村	約70	約290
八代市	約25	約520
あさぎり町	約20	約4
芦北町	約5	約70
合計※	約1,150	約6,280

事業費：16,281百万円

※球磨川水系における大規模災害関連事業の令和5年度補正予算の事業費を記載しております。



▲球磨川(58.0k付近)における浸水被害状況(人吉市)



▲球磨川(61.4k付近)右岸の人吉市の浸水被害状況



▲球磨川56.4kの堤防決壊状況(人吉市)



▲球磨川(52.0k付近)における護岸の被害状況(球磨郡球磨村)

凡例

- 浸水範囲
- 堤防決壊箇所
- 大臣管理区間
- 道路橋(落橋)
- 鉄道橋(落橋)

球磨川水系直轄砂防事業【直轄】

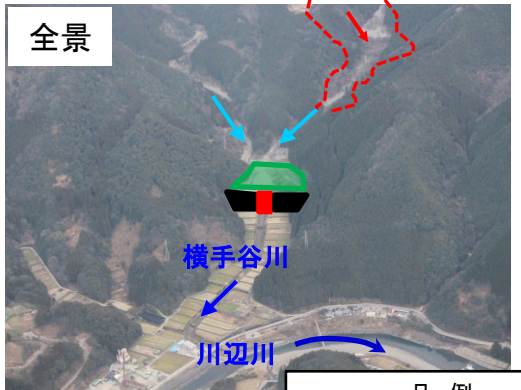
球磨川水系直轄砂防事業(球磨郡五木村)

○横手谷川は、昭和38年の集中豪雨に伴い深層崩壊が発生し、大量の土砂が川辺川本川に流出し、下流では甚大な被害が発生した。流域内には現在も大量の土砂が残存しており、土砂災害発生危険度が高いことから、既設の砂防堰堤を部分透過型に改良する等して設備の機能を向上させることにより、土砂災害から下流の保全家屋や国道445号等を保全する。

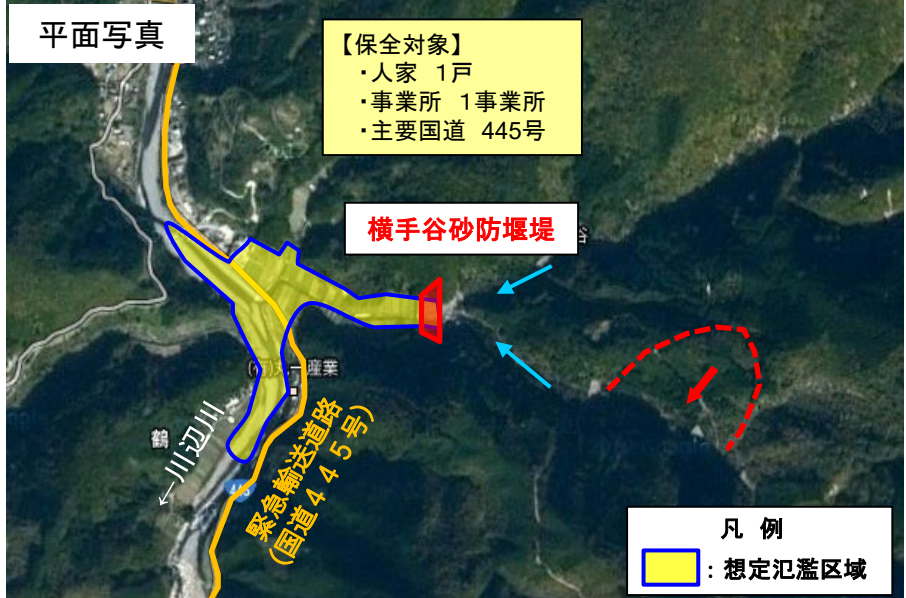


**令和5年度補正
実施内容:砂防堰堤工(改築)
N=1基
事業費:404百万円**

※事業費については、球磨川水系における直轄砂防事業の令和5年度補正予算を記載しております。

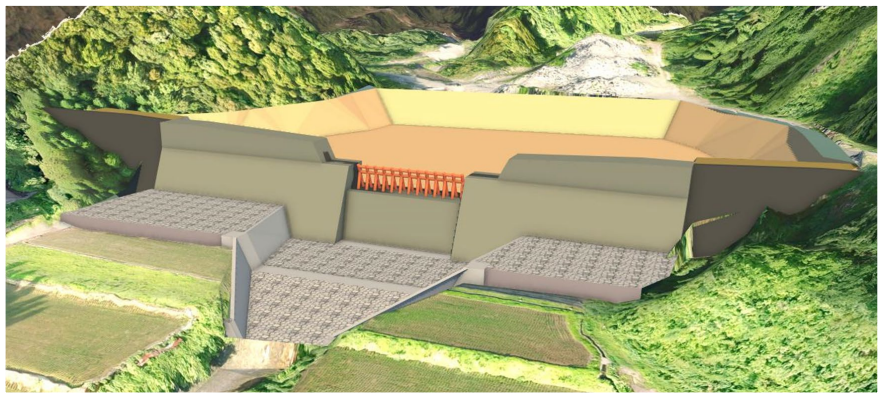


凡例
■ 令和5年度当初まで
■ 令和5年度補正
■ 令和6年度以降



凡例
■ : 想定氾濫区域

横手谷砂防堰堤改築 完成イメージ



- 大分川水系大分川下流域では、令和5年度より、大分市の推進するスポーツによるまちづくりと一体となり、河川とまちが融合したスポーツ拠点および多様な利用が可能な魅力ある河川空間の創出に取り組んでいる。
- 令和5年度補正予算により高水敷整正、管理用通路の整備を行うことで、利活用の主要拠点として期待される宗麟大橋周辺の利便性・安全性を向上させることにより水辺の利用促進を図る。

そうりんおお

位置図



令和5年度補正
実施内容: 高水敷整正、
管理用通路
事業費: 182百万円

水辺空間の活用イメージ

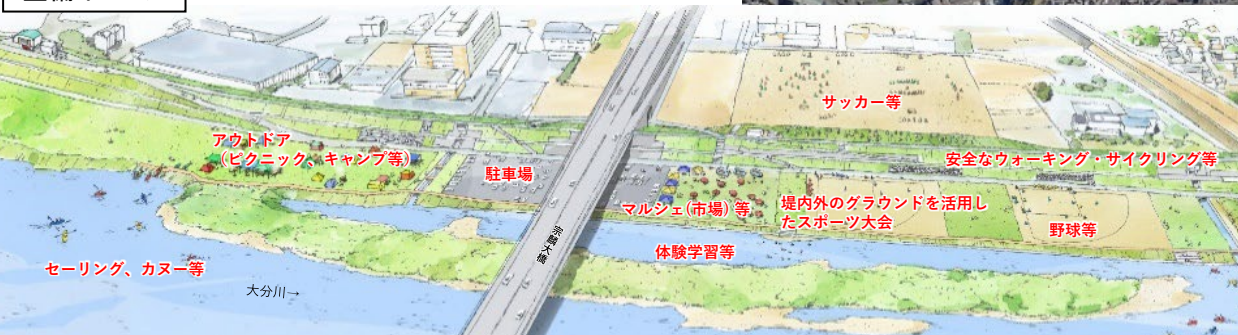


カヌー・セーリング体験

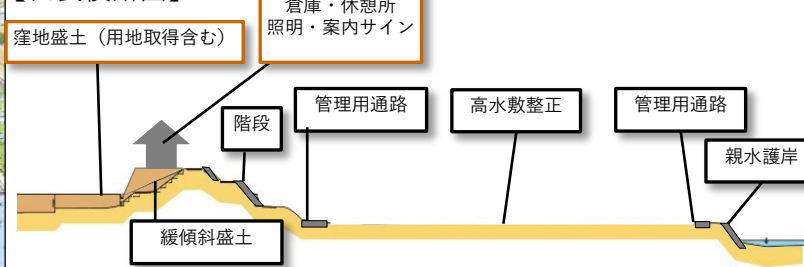


車いすマラソンの練習コース

整備イメージ

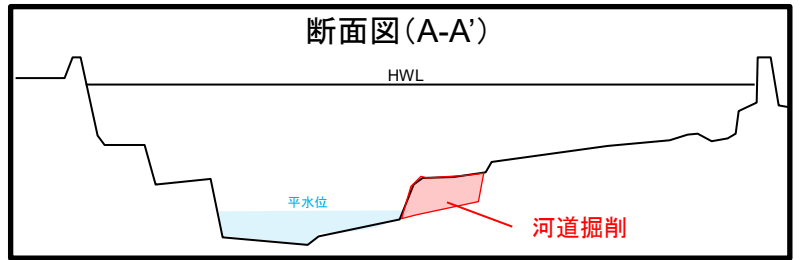
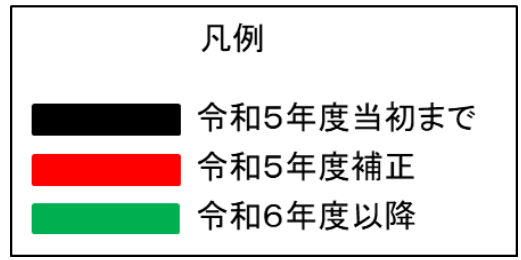


【代表横断面図】



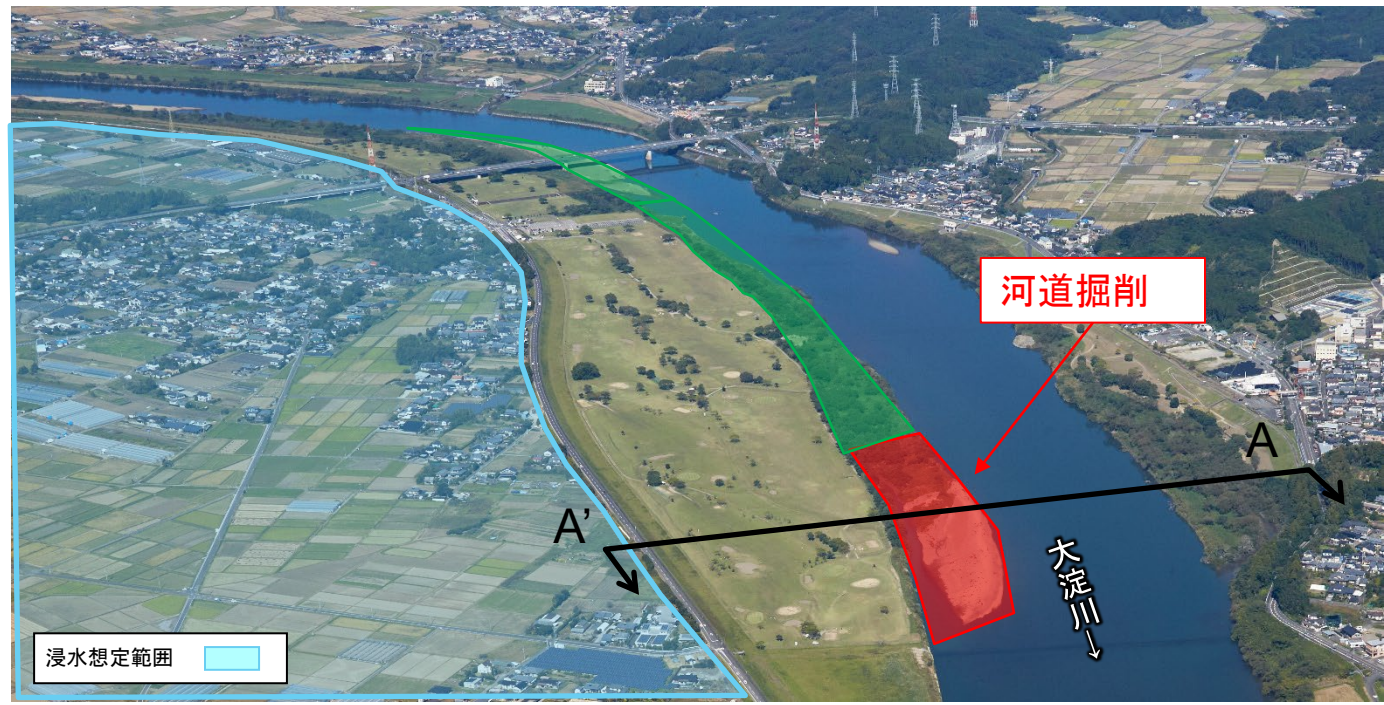
大淀川直轄河川改修事業(跡江地区)【直轄】

- 既往最大の平成17年9月出水と同規模の洪水を安全に流すことを目標として、河道掘削等を実施中。
- 近年では、令和4年9月の台風14号による大雨において、浸水被害が発生。
- 令和5年度補正予算にて、大淀川本川の河道掘削を実施することで、本川水位を低下させ、浸水被害の軽減を図る。



みやぎし あとえ
宮崎県宮崎市跡江地先

令和5年度補正
実施内容:河道掘削 等
事業費:702百万円※



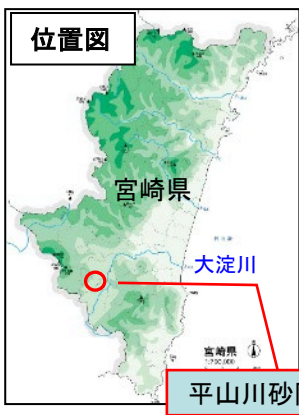
※大淀水系における直轄河川改修事業の
令和5年度補正予算の事業費を記載しております。

大淀川水系直轄砂防事業【直轄】

みやこのじょうし やまだちょう やまだ

■大淀川水系直轄砂防事業(都城市山田町山田)

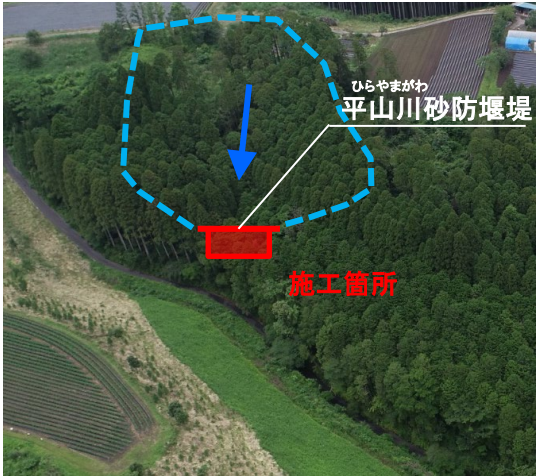
○豪雨時に発生する下流河川の河床上昇に伴う土砂・洪水氾濫被害及び土石流災害から、下流の住民の生命や財産等を守ることを目的に、砂防堰堤の整備を行う。



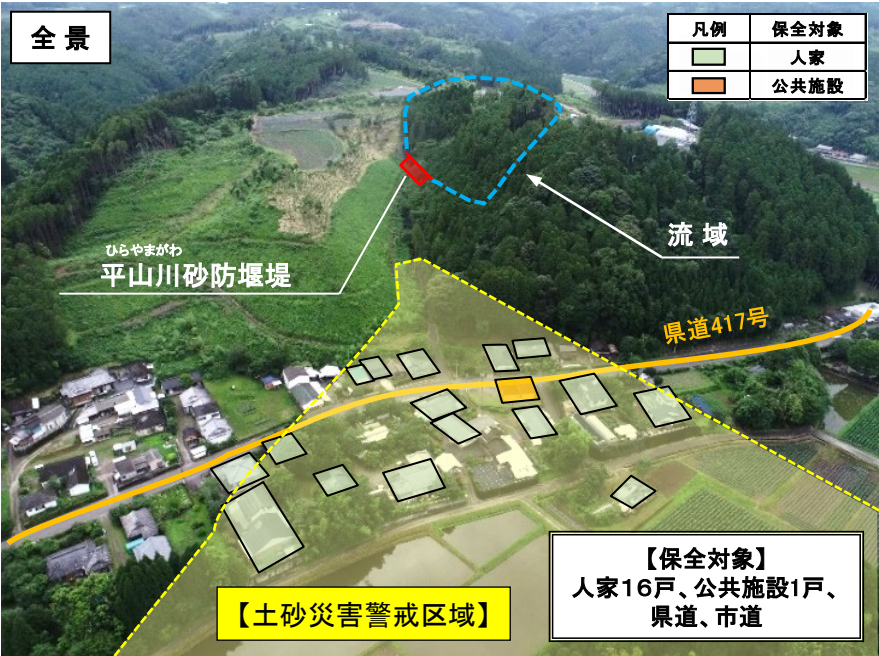
令和5年度補正
 実施内容: 砂防堰堤工
 N=1基
 事業費: 324百万円

※事業費については、大淀川水系における直轄砂防事業の令和5年度補正予算を記載しております。

近景

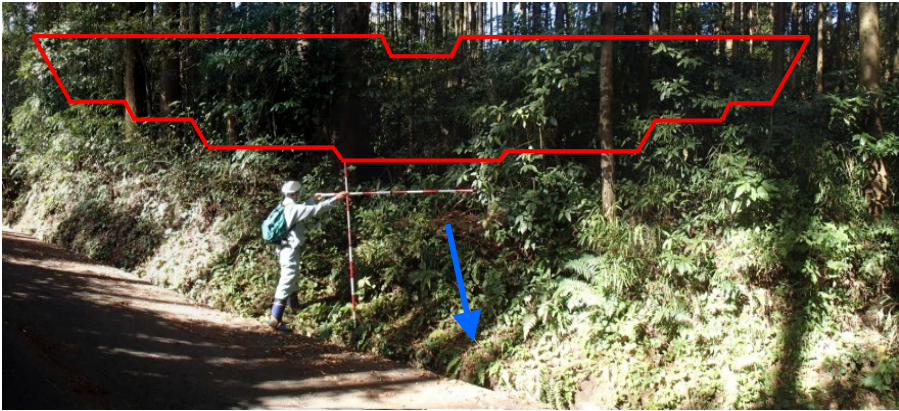


溪流の荒廃状況

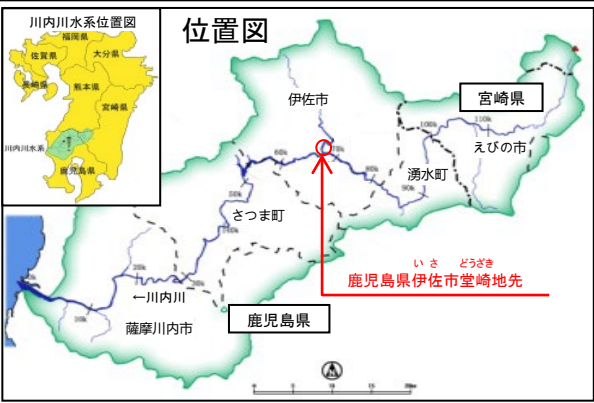


凡例	
	令和5年度当初まで
	令和5年度補正
	令和6年度以降

平山川砂防堰堤 完成イメージ



- 川内川は、平成18年7月豪雨で甚大な被害を受けており、戦後最大の平成18年7月豪雨を安全に流すことを目的に築堤、河道掘削等を実施中。
- 近年では、令和3年7月出水において、平成18年7月豪雨に匹敵する雨量を観測するとともに内水被害が発生。
- 令和5年度補正にて、川内川水系羽月川の河道掘削等を実施することで、水位を低下させ内水被害軽減を図る。



**令和5年度補正
実施内容:河道掘削、護岸 等
事業費:1,706百万円**

※川内川水系における直轄河川改修事業の
令和5年度補正予算の事業費を記載しております。

